

令和6年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況

熱中症による救急搬送人員について、令和6年5月から9月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 令和6年5月から9月の甲賀広域行政組合消防本部の管轄内における、熱中症による救急搬送人員の累計は112人でした。これは、令和5年より16人減少しましたが、過去5年間でみると2番目に多い人数となっています。
- 甲賀広域行政組合消防本部の管轄内における、熱中症による救急搬送状況は以下のとおりです。
 - ☞ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年の順となっています。
 - ☞ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く次いで中等症、重症の順となっています。
 - ☞ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで仕事場①（道路工事現場、工場、作業所等）、公衆出入り場所（屋外）、その他の順となっています。

※ そのほか、各種統計結果等は組合ホームページに掲載しています。下記URL等を参考にしてください。また、甲賀消防 Facebook にて様々な情報を随時公開しています。



ホームページ



URL: <https://www.koka-koiki.jp/>



Facebook



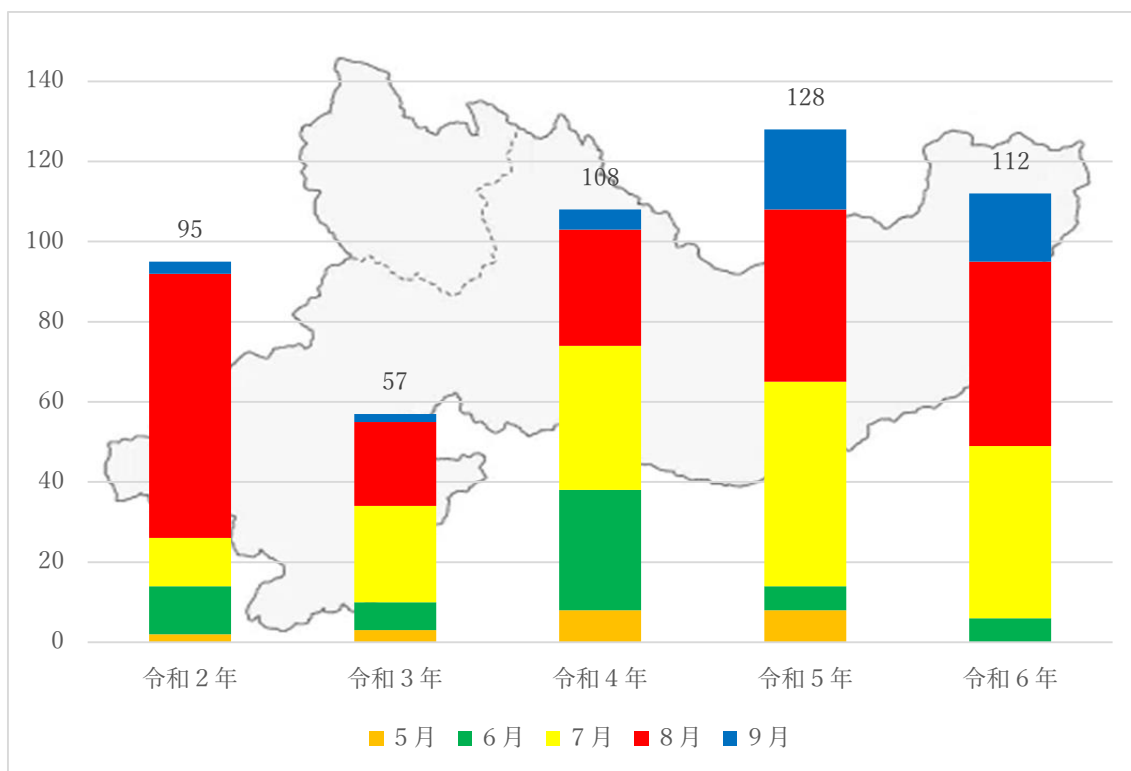
URL: <https://www.facebook.com/kokashobo.119/>

令和6年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況の概要

令和6年5月から9月の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総数

令和6年5月から9月の甲賀広域行政組合消防本部の管轄内における熱中症による救急搬送人員の累計は112人でした。これは過去5年間で2番目に多い人数となっています。

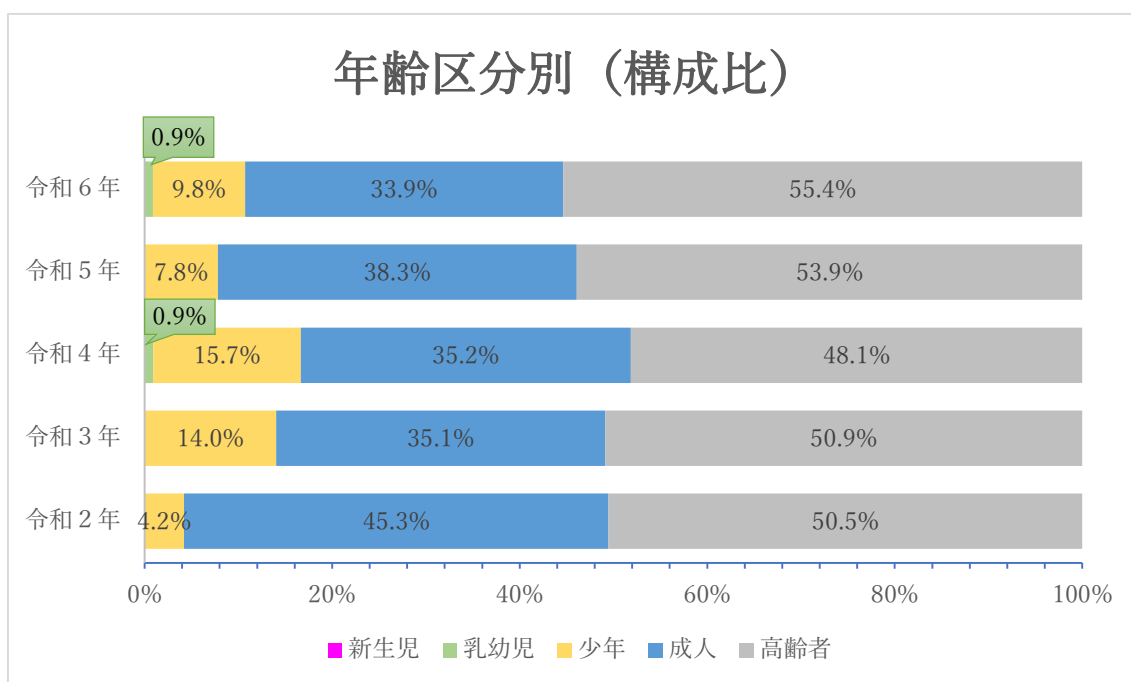


	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5月	2	3	8	8	0
6月	12	7	30	6	6
7月	12	24	36	51	43
8月	66	21	29	43	46
9月	3	2	5	20	17
合計	95	57	108	128	112

2 内訳

(1) 年齢区分別の救急搬送人員

高齢者が最も多く 62 人 (55.4%)、次いで成人が 38 人 (33.9%)、少年 11 人 (9.8%)、乳幼児 1 人 (0.9%) の順となっています。



	年齢区分別（人）					合計
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
令和 6 年	0	1	11	38	62	112
	0.0%	0.9%	9.8%	33.9%	55.4%	100%
令和 5 年	0	0	10	49	69	128
	0.0%	0.0%	7.8%	38.3%	53.9%	100%
令和 4 年	0	1	17	38	52	108
	0.0%	0.9%	15.7%	35.2%	48.1%	100%
令和 3 年	0	0	8	20	29	57
	0.0%	0.0%	14.0%	35.1%	50.9%	100%
令和 2 年	0	0	4	43	48	95
	0.0%	0.0%	4.2%	45.3%	50.5%	100%

新生児：生後 28 日未満の者

成人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者

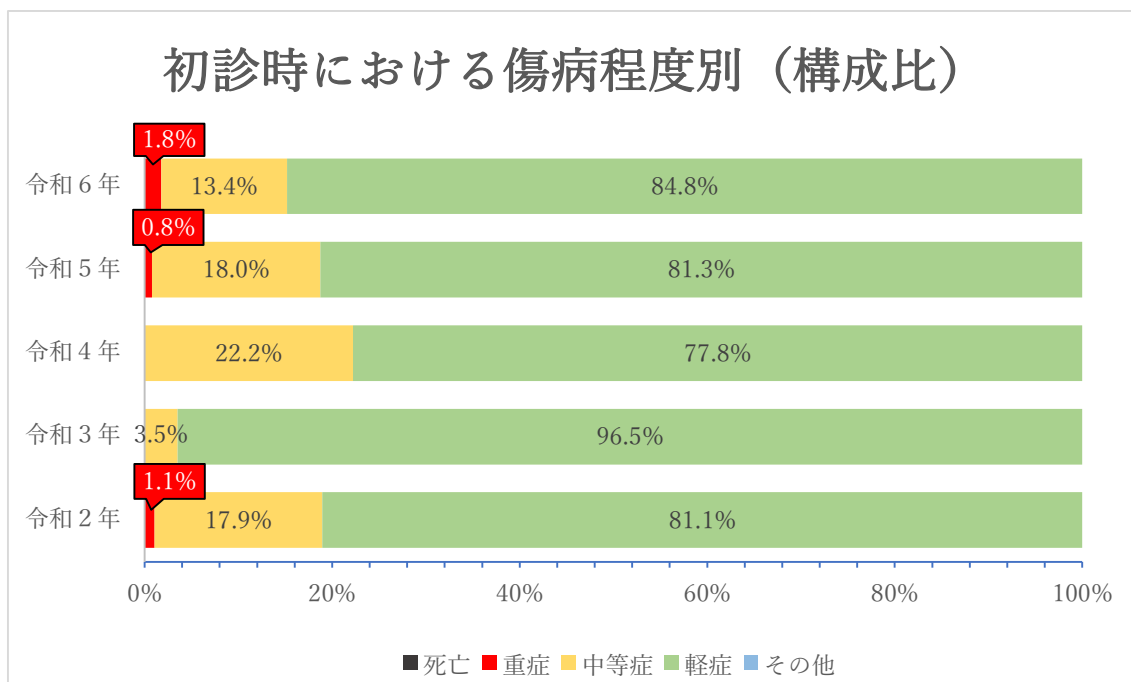
乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者

高齢者：満 65 歳以上の者

少年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者

(2) 医療機関での初診時における傷病程度別の救急搬送人員

軽症が最も多く 95 人 (84.8%)、次いで中等症が 15 人 (13.4%)、重症が 2 人 (1.8%) の順となっています。



	初診時における傷病程度別（人）					合計
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
令和 6 年	0	2	15	95	0	112
	0.0%	1.8%	13.4%	84.8%	0.0%	100%
令和 5 年	0	1	23	104	0	128
	0.0%	0.8%	18.0%	81.3%	0.0%	100%
令和 4 年	0	0	24	84	0	108
	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	100%
令和 3 年	0	0	2	55	0	57
	0.0%	0.0%	3.5%	96.5%	0.0%	100%
令和 2 年	0	1	17	77	0	95
	0.0%	1.1%	17.9%	81.1%	0.0%	100%

死 亡：初診時において死亡が確認されたもの

重 症：傷病程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの

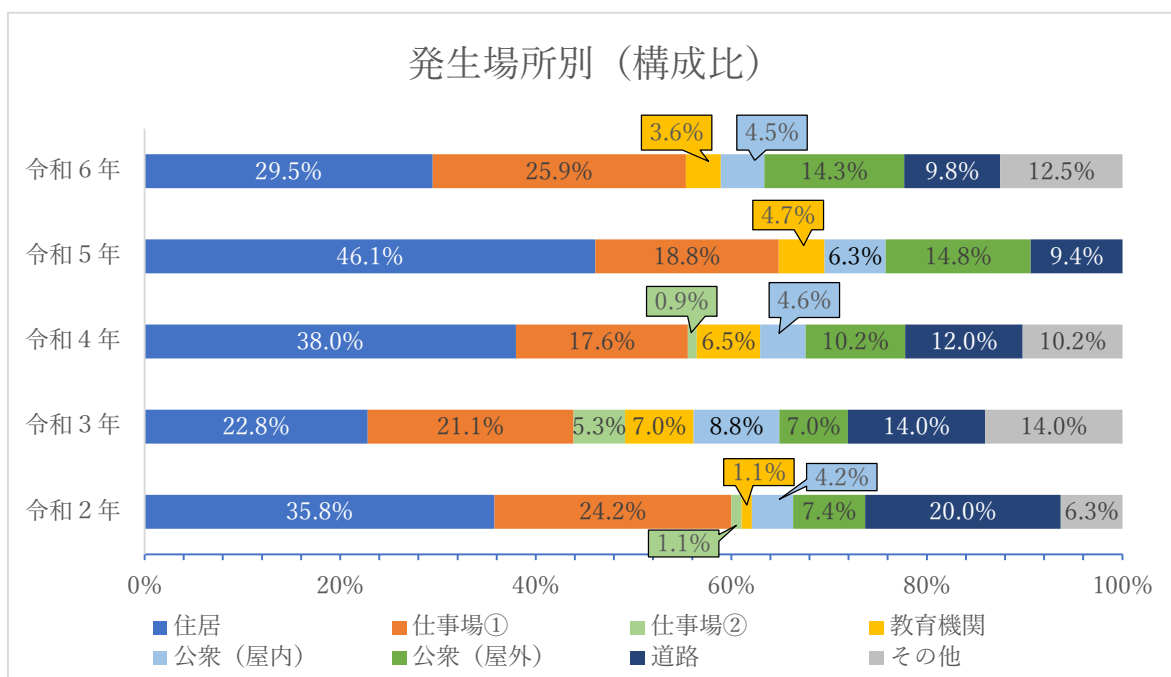
中等症：傷病程度が重症または軽症以外のもの

軽 症：傷病程度が入院加療を必要としないもの

その他：医師の判断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

(3) 発生場所別の救急搬送人員

住居が最も多く 33 人 (29.5%)、次いで仕事場①が 29 人 (25.9%)、公衆 (屋外) 16 人 (14.3%)、その他 14 人 (12.5%) の順となっています。

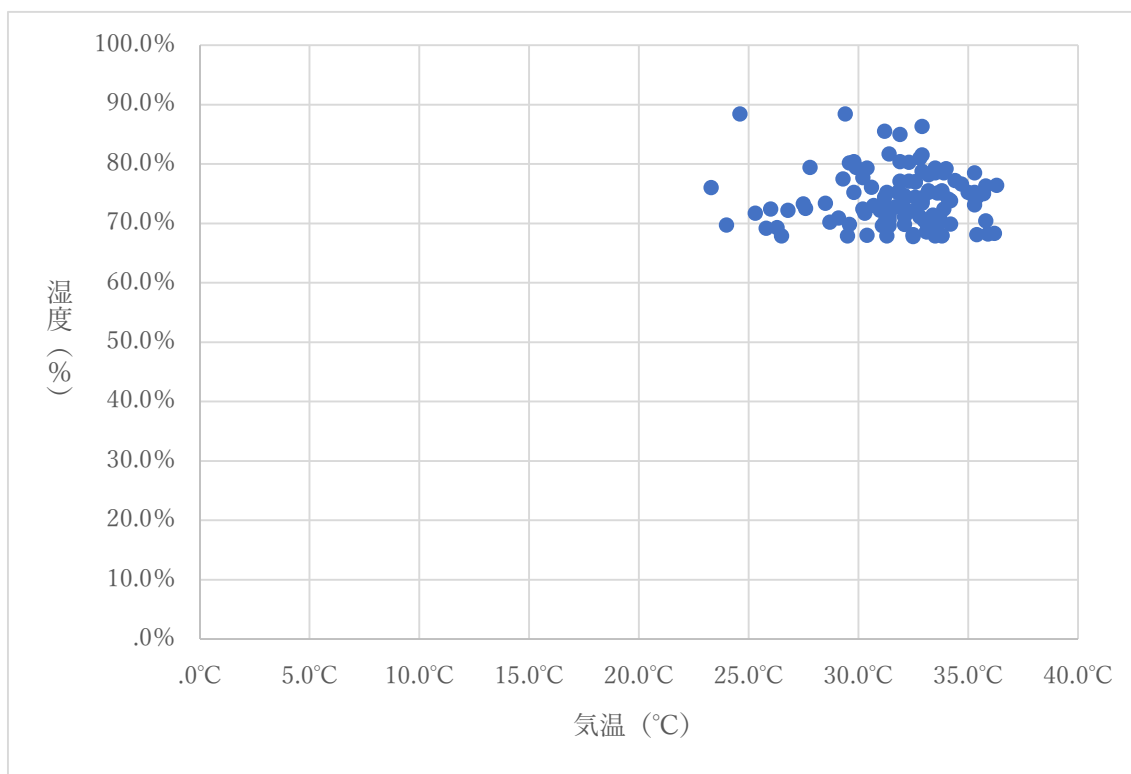


	発生場所別 (人)								
	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆 (屋内)	公衆 (屋外)	道路	その他	合計
令和 6 年	33	29	0	4	5	16	11	14	112
	29.5%	25.9%	0.0%	3.6%	4.5%	14.3%	9.8%	12.5%	100%
令和 5 年	59	24	0	6	8	19	12	0	128
	46.1%	18.8%	0.0%	4.7%	6.3%	14.8%	9.4%	0.0%	100%
令和 4 年	41	19	1	7	5	11	13	11	108
	38.0%	17.6%	0.9%	6.5%	4.6%	10.2%	12.0%	10.2%	100%
令和 3 年	13	12	3	4	5	4	8	8	57
	22.8%	21.1%	5.3%	7.0%	8.8%	7.0%	14.0%	14.0%	100%
令和 2 年	34	23	1	1	4	7	19	6	95
	35.8%	24.2%	1.1%	1.1%	4.2%	7.4%	20.0%	6.3%	100%

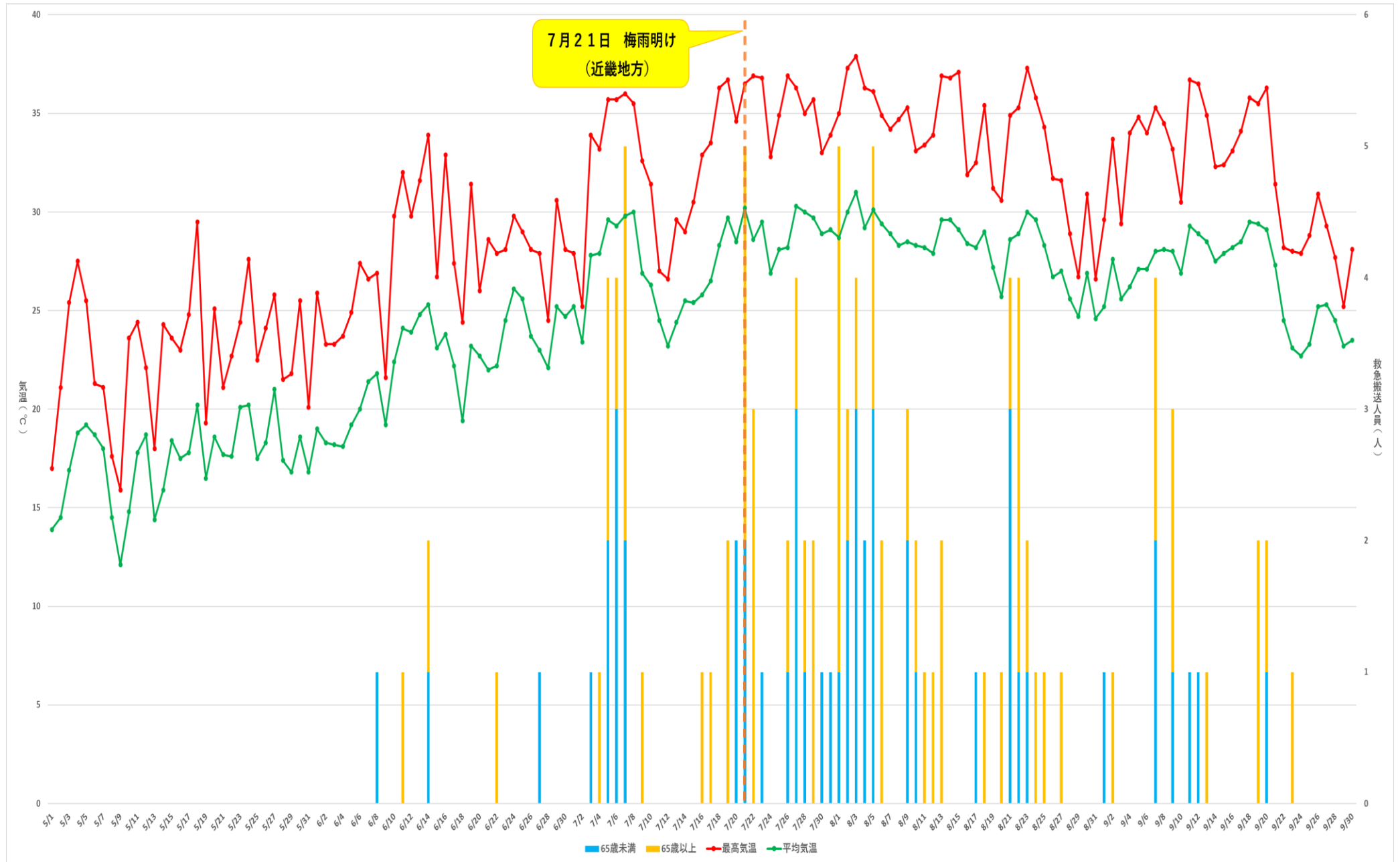
住居：敷地内全ての場所を含む	公衆 (屋内)：不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、飲食店、病院、百貨店等)
仕事場①：道路工事現場、工場、作業所等	公衆 (屋外)：不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、屋外駐車場等)
仕事場②：田畑、森林、海、川等 (農・畜・水産作業を行っている場合のみ)	道路：一般道路、歩道、有料道路、高速道路等
教育機関：幼稚園、保育園、小学校、中学校、 高等学校、専門学校、大学等	その他：いずれにも該当しない項目

(4) 発生時の気温と湿度

グラフを見て解るとおり、気温が 30°C を超え、且つ湿度が 70% を超える、いわゆる高温多湿の条件が揃った際に多く発生しています。



(5) 救急搬送人員と気温

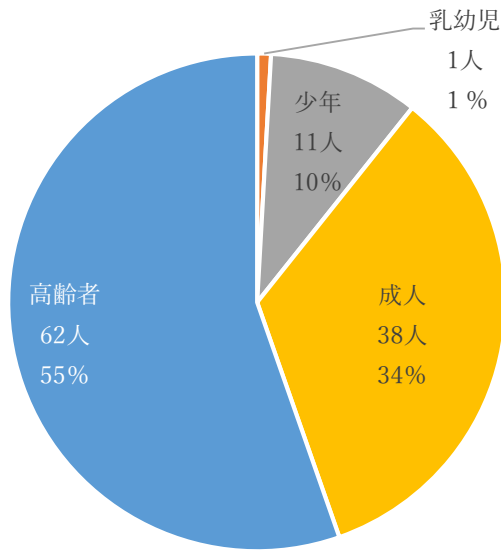


熱中症による救急搬送状況（令和6年）

「年齢区分別（構成比）、初診時における傷病程度別（構成比）、発生場所別（構成比）」

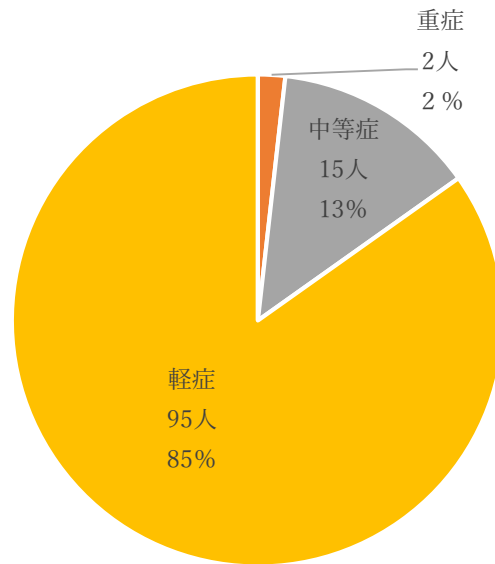
年齢区分別（構成比）

総搬送人員112人



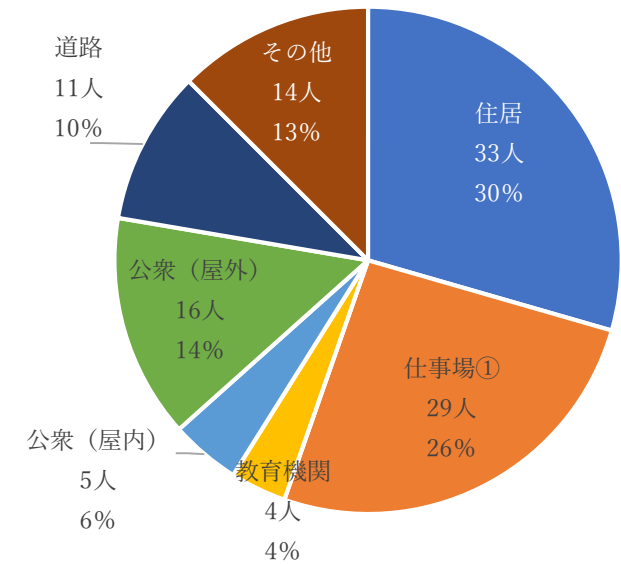
初診時における傷病程度別（構成比）

総搬送人員112人



発生場所別（構成比）

総搬送人員112人



※端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。